

陵南中学校野球部

文部科学大臣杯 第16回全日本少年春季軟式野球大会出場

主催	公益財団法人全日本軟式野球連盟・全国新聞社事業協議会
日時	令和7年3月21日（金）～3月26日（水） *3/21 開会式
場所	未定（倉敷スポーツ公園マスカットスタジアム他）
内容	「文部科学大臣杯 第16回全日本少年春季軟式野球大会」が3月末に岡山県で開催され、本校野球部が出場する。 本校野球部員は現在1年生5名、2年生11名の計16名で、そのうち中学校から野球を始めた生徒が6名いる。ここ数年、部員の確保が難しく、初心者や途中で転部してきた生徒などで構成されていた。 昨年度は1年生（現2年生）中心のチームで、これまでと同様、試合で勝利することは難しかったが、自ら立候補した1年生キャプテンを中心に、学年を超えて全員野球で地道に練習を重ね、基礎的な練習を繰り返し行ってきた。 その努力もあり、今年度秋の市新人大会では準優勝、東播新人大会では優勝、さらには県大会でも優勝し、近畿大会・全国大会への出場権を獲得した。県大会で加古川市立中学校が優勝したのは、平成13年の中部中学校以来の快挙である。（県大会までは中体連主催、近畿大会からは軟式野球連盟主催） 11月16日・17日に和歌山県貴志川スポーツ公園野球場で行われた「第17回近畿秋季少年軟式野球大会」では2府4県の代表（和歌山県は2チーム）が出場したが、本校が唯一の公立中学校であった（他はクラブチーム・私立中学校）。1回戦は突破したものの、2回戦では惜しくも最終回に逆転負けを喫した。 3月に行われる全国大会は、各都道府県代表合計56チームが参加し、岡山県内8会場にて開催される。本校は、今年開校40周年を迎えるが、その記念すべき年に、開校以来初となる大舞台に挑む野球部に、保護者や地域の期待も高まっている。全国大会では、近畿大会の雪辱を果たすべく、現在、全員野球で、日々練習に励んでいる。
対象（参加者）	加古川市立陵南中学校野球部1・2年生16名
定員	—
参加費	—
申込先・方法	—
目的・背景 その他	陵南中学校40周年の記念すべき年に、開校以来初めて野球部が「文部科学大臣杯 第16回全日本少年春季軟式野球大会」に出場する。
市ホームページ	掲載しない
広報かがわ	掲載しない

全国大会へのあゆみ

2024.12.16

令和6年度 第76回加古川市中学校新人体育大会 軟式野球競技大会

決勝 陵南 6 - 8 浜ノ宮 (東播大会出場権獲得)

準決勝 陵南 5 - 1 別府

2回戦 陵南 4× - 3 平岡

令和6年度 第46回東播地区中学校新人体育大会 軟式野球競技大会

決勝 陵南 3 - 2 浜ノ宮 (県大会出場権獲得)

準決勝 陵南 2 - 0 鹿島

2回戦 陵南 5 - 0 播磨

1回戦 陵南 8 - 1 旭丘

令和6年度 第58回兵庫県中学校軟式野球新人大会 兼 第16回全日本少年春季軟式野球大会 兵庫県予選会

決勝 陵南 4 - 3 鷹匠(神戸市) (近畿大会、全国大会出場権獲得)

準決勝 陵南 3 - 2 網干(姫路市)

1回戦 陵南 5 - 3 西 (伊丹市)

令和6年度 第17回近畿秋季少年軟式野球大会

1回戦 上富田クラブ(和歌山) 1 - 2× 陵南中学校(兵庫)

準決勝 陵南中学校(兵庫) 1 - 2 高槻クラウン(大阪)

文部科学大臣杯第16回全日本少年春季軟式野球大会 ENEOS トーナメント

2025年3月21日(金)~26(水) 56チーム

岡山県内8会場(倉敷スポーツ公園マスカット球場、他7会場)

加古川市立陵南中学校 野球部

監督 八木孝泰(やぎ たかひろ)

部長 平井 玄峰 部員1年生5名 2年生11名

コーチ 北岡 裕也

部員1, 2年生で16名(1年生5名、2年生11名)で活動中(経歴: 少年野球4名、ソフトボール6名、中学から始めた人6名)